

ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2024年8月

- 8月7日～8日の2日間に渡って、経済産業省で開催された「**経済産業省こどもデー**」にて、「**常磐もの**」を使った料理を提供する**キッチンカーを出店**。
- 7日には「常磐もの」を使った「**シーフードパッタイ**」や「**ガパオライス**」といった本格的なエスニック料理を、8日には「常磐もの」を使った「**ひつまぶし**」などの和をテーマとした料理を提供し、2日間合計で約300食を販売した。
- 合わせてお子様向けのメニューとして、**福島県産の桃を使用したジュースやかき氷なども販売**し、子供から大人まで**多くの来場者**に「常磐もの」を使った料理を味わっていただいた。

イベントの様子



- 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくための施策として「**ごひいき！三陸常磐キャンペーン**」を**2022年10月1日より実施**。
- 2024年8月8日に、ヨークベニマル南福島店へ齋藤健経済産業大臣が訪れ、**三陸常磐の海の幸の魅力を伝える試食イベント**や、**福島県内の流通・小売事業者との意見交換**を実施。

イベントの様子



ヨークベニマル様からのコメント

「日頃、福島県内で切磋琢磨している小売各社のみなさまと共に、三陸常磐の海産物の消費拡大に向けて一緒に力を合わせて取り組めることはありがたいことだと思っております。」

詳細レポート



- 2024年8月21日から23日の期間、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の水産見本市「**ジャパン・インターナショナル・シーフードショー**」において、「**ごひいき！三陸常磐キャンペーン**」のもと、一画に「三陸・常磐エリア」を設け、**三陸・常磐地方の事業者の方々の出展をサポート**する等、流通・小売関係事業者等に向けて魅力を発信。

イベントの様子



事業者の出展ブースの様子

- 8月21日（水）～27日（火）の7日間、郡山市の**うすい百貨店にて、「ふくしま常磐大漁市 ～ふくしまの海からSDGsを考えよう～」**を福島相双復興推進機構の主催で開催。
- 本イベントでは、SDGsに向けた魚の資源保護に関する普及啓発を目的とした展示を行うとともに、海洋廃棄物である**マイクロプラスチックを用いた工作体験**、子どもが描いた魚の絵をデジタル画面で泳がせる「デジタル水族館」などを実施。
- あわせて、福島県の水産加工品の販売会である**「ふくしま常磐大漁市」（福島県漁連をはじめとした福島県の水産加工業者など12事業者の商品約30品を販売）**、浜の屋台とキッチンカーによる「常磐もの」を中心とした**「常磐レストラン」（5事業者）**を出店。
- 24日にはミニステージを開催。**郡山市の品川萬里市長、いわき市の漁師の久保木克洋氏（福島県漁青連いわき方部会会長）に登壇**いただき、品川市長からは郡山市のSDGsに関する取組を、久保木氏からは海水温上昇による魚種の変化、漁における海洋ゴミに関する体験談をお話いただいた。また福島県内の高校生よりSDGsの取組の発表も行った。

ふくしま常磐大漁市～ふくしまの海からSDGsを考えよう～



▲品川市長（右から2人目）



▲海洋ゴミの苦勞を語る久保木会長



▲ふくしま常磐大漁市



▲デジタル水族館



▲マイクロプラスチックを用いた工作体験

- 2024年7月8日～7月13日、**イタリアより、高級食材を扱い日本産水産物の輸入実績を持つ有力輸入業者、及び同社卸先のミシュラン星付きレストランのシェフ、計2名を招聘、岩手、和歌山の水産事業者に商談機会を提供した。**
- バイヤーの関心を勘案し、岩手県では、EU HACCP認証取得へ向け準備中のウニ等を扱う水産加工業者を訪問、養殖場の視察と商談を実施。和歌山では、マダイ等を扱う水産加工業者を訪問、商談を実施した。
- 輸入業者卸先レストランのシェフも招へいすることで、効果的な商談、イタリアレストラン業界における日本産水産物PR効果も狙った。

イタリア・バイヤーの岩手、和歌山招へい

▼ 岩手における商談(写真上)、養殖場視察(同下)

■ イタリア・バイヤーの岩手、和歌山招へい概要

- 招聘期間：2024年7月8日（月）～13日（土）
- 訪問先：岩手、和歌山
- 商談した水産物：ウニ、マダイ等

■ 商談した水産事業者の反応

（岩手）具体的な商流づくりに向けた貴重な機会になった。

（和歌山）バイヤーから直接話を聞く事ができ、新規輸出につながる商談ができた。

■ 招聘したイタリア・バイヤーの反応

高品質な日本産水産物や食材を短期間で効率的に視察・商談できありがたい。



▲ 和歌山における商談



▲ タイの加工風景



- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ ふくしま」の取り組みの一環として、8月12日～18日の7日間、羽田空港内のP Rスペース「羽田産直館」にて、「**ふくしまの桃**」のほか、**県産品や国産ホタテの試食・販売イベントを開催した。イートインコーナーでは、ホタテやメヒカリを使ったメニューも提供した。7日間合計で飲食メニュー約600食、物販商品約2,700点を販売した。**
- 8月17日、18日の2日間、おかちまちパンダ広場（御徒町南口駅前広場）と松坂屋上野店地下1階ほっぺタウンにて「発見！ ふくしま夏まつり」を開催した。**ふくしまの桃や地酒を販売し、ホタテ焼きなどの屋台も出店した。2日間合計で約10,000人が来場し、約5,000食を販売した。**

羽田産直館での販売イベント

- 日程：8月12日（月）～8月18日（日）
- 場所：羽田空港第1ターミナル2階 羽田産直館内



▲会場の様子

発見！ ふくしま夏まつり

- 日程：8月17日（土）、18日（日）
- 場所：おかちまちパンダ広場
松坂屋上野店地下1階ほっぺタウン



▲会場の様子
（おかちまちパンダ広場）



▲会場の様子
（松坂屋上野店）

理解釀成

- 本年8月3日に葛尾村で開催された「標葉祭り2024」において、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉やALPS処理水に関するブースを出展。来場者の方々に福島第一原子力発電所のジオラマを用いて説明するとともに、パンフレットの配布を行った。

イベントの様子



- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページにバナー広告を掲載。**

ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？
本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を
処分しないといけないの？
- 本当に海洋放出しても
大丈夫なの？
- 近海でとれた
魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係る
モニタリング

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

Twitter Facebook Line Messenger

日本語 | English

安全対策・
風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全性の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

※12月22日に採取を行ったALPS処理水（K4-Bタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値和1未満

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

※最新の各種間での分析結果をもとにしています

凡例

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ⚠ 「放出停止判断レベル」を超えたときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で30Bq/L」と定めています。これを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

Yahoo!JAPAN バナー広告

ページはこちら

Copyright Ministry of Economy, Trade and Industry. All Rights Reserved.

- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
ALPS 処理水って何？
本当に安全なの？




- ① ALPS処理水って何？
本当に安全なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
トリチウムって何？




- ② トリチウムって何？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
なぜALPS処理水を
処分しなければならないの？




- ③ なぜALPS処理水を
処分しなければならないの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？




- ④ 本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
近海でとれた魚は
大丈夫なの？




- ⑤ 近海でとれた魚は
大丈夫なの？

■ 福島民報と福島民友において、福島県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える全面カラー広告を掲載。

新聞への広告掲載内容(福島民報・福島民友)
全面カラー広告(8月10日掲載)

「常磐もの」美味しいつながり

海の幸「常磐もの」、その「常磐もの」は福島県から私たちに、たくさんの水産物のプロたちのリレーによって運ばれます。その「美味いつながり」にはどんな魅力があるのか、4人のプロに聞きました。

生産 相馬双葉漁業協同組合

福島県「常磐もの」を次世代に渡す

漁師になって35年、曾祖父の代からずっと相馬の海で漁師をしています。漁師は食料の生産者です。漁師が作る水産物は、食料の生産者としての責任を担っています。漁師は食料の生産者としての責任を担っています。漁師は食料の生産者としての責任を担っています。

小売 相馬市民市場株式会社 浜の駅 松川浦

口こみで広がる「常磐もの」の評判

漁師の新鮮な水産物は、相馬市民市場株式会社の松川浦店に、毎朝の朝市で運ばれます。松川浦店の松川浦店は、相馬市民市場株式会社の松川浦店に、毎朝の朝市で運ばれます。

卸売 東京都中央卸売市場 豊洲市場

自信を持って売り込む「常磐もの」

日本の食料を支える重要な役割を担っている「常磐もの」。日本の食料を支える重要な役割を担っている「常磐もの」。日本の食料を支える重要な役割を担っている「常磐もの」。

飲食 五色 GEMS 市ヶ谷店

地元の名産品をこころをこめて提供

五色 GEMS 市ヶ谷店の料理長は、地元の名産品をこころをこめて提供しています。五色 GEMS 市ヶ谷店の料理長は、地元の名産品をこころをこめて提供しています。

みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いづれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状況

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いづれも基準を満たしていることを確認しました。

海域モニタリング結果

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

全体版はこちら

■ 岩手日報において、岩手県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える**全面カラー広告**を掲載。

新聞への広告掲載内容(岩手日報)
全面カラー広告(8月10日掲載)

三陸を代表する夏の味覚 生ウニ

ウニは岩手の夏を代表する味覚で、三陸の海の恵みをぎゅっと詰め込んだような濃厚な味わいが特徴です。全国に誇る岩手生ウニの魅力とは？ 地元漁業者や小売店、百貨店の飲食店、市場関係者に聞きました。

瓶ウニの魅力 全国に発信

「瓶ウニ」は、生ウニを真空パックにしたもので、持ち運びが便利で、賞味期限も長いのが魅力です。地元産の生ウニを、全国に届けることで、岩手の魅力を発信しています。

三上商店【新古市】

三上商店は、地元産の生ウニを多く取り扱っています。新鮮な生ウニを、毎日届けています。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

南俣漁業研究会【久慈市】

南俣漁業研究会は、地元産の生ウニを多く取り扱っています。新鮮な生ウニを、毎日届けています。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

濃厚広がる 岩手の恵み

岩手の恵みは、濃厚で、広がる。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

全 国 産 品

全国産品は、地元産の生ウニを多く取り扱っています。新鮮な生ウニを、毎日届けています。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

ブランド、おいしさ自信 ひいきの品ずらり

ブランド、おいしさ自信。ひいきの品ずらり。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

敵 岩手の恵み

敵、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

濃厚広がる 岩手の恵み

濃厚広がる、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

全 国 産 品

全国産品は、地元産の生ウニを多く取り扱っています。新鮮な生ウニを、毎日届けています。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

ブランド、おいしさ自信 ひいきの品ずらり

ブランド、おいしさ自信。ひいきの品ずらり。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

敵 岩手の恵み

敵、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

濃厚広がる 岩手の恵み

濃厚広がる、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

全 国 産 品

全国産品は、地元産の生ウニを多く取り扱っています。新鮮な生ウニを、毎日届けています。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

ブランド、おいしさ自信 ひいきの品ずらり

ブランド、おいしさ自信。ひいきの品ずらり。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

敵 岩手の恵み

敵、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

濃厚広がる 岩手の恵み

濃厚広がる、岩手の恵み。地元産の生ウニの魅力を、全国に発信しています。

みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状態

基準を満たす

最新の状況

異常なし

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。

※2023年4月10日(金)に実施されたALPS処理水(134-Cタンク) 東京電力3号炉の放出前検査結果(1号機)

海域モニタリング結果 (海水・魚に付着する放射性物質)

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

※放出前の各機関での分析結果も示されています。

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで見よう ALPS処理水 検索

全体版はこちら

**新聞への広告掲載内容(河北新報)
全面カラー広告(8月10日掲載)**



みんなで
知ろう。
考えよう。

ALPS処理水のこと



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

広告

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認すると、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いづれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状況

✓

基準を満たす

現在の状況

○

異常なし

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いづれも基準を満たしていることを確認しました。

※2023年4月1日（初回）～5月（ALPS処理水（ALW））の最終・177回目までの分析結果が確認されています。

海域モニタリング結果 （海水・魚に含まれるトリチウム）

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

※最新の各機関での分析結果はこちらです。

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら





その他、ALPS処理水に関する情報はこちら
もご覧いただけます。



- 2024年8月7日、**東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の取扱いに関する在京外交団等向け説明会を実施。**

参加国及び地域（19の国及び地域）

イタリア、イラク、ウルグアイ、エクアドル、韓国、カンボジア、シンガポール、スペイン、ドイツ、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、フィリピン、フィンランド、ブラジル、米国、香港、モザンビーク、ロシア

（参考URL） <https://www.meti.go.jp/press/2024/08/20240807001/20240807001.html>

- 東京電力から、これまでのALPS処理水の海洋放出実績及び今後の放出計画について、経済産業省から、海洋放出開始後に実施されたIAEAによるレビューの結果の概要について説明を行った。

IAEAによるレビュー

2024年4月23日から26日にかけて、IAEAの職員及び国際専門家が日本を訪れ、その際に実施した海洋放出後2回目となるレビューの結論を示した。報告書では、関連する国際安全基準の要求事項と合致しない点も確認されなかったことを明記。

（参考URL） <https://www.meti.go.jp/press/2024/07/20240718002/20240718002.html>

- 8月25日、26日の2日間、**廃炉関係者**（経産省、原子力規制庁、東京電力、NDF）と**地域住民の対話の機会を提供**することを目的に、原子力損賠賠償・廃炉等支援機構（NDF）が**福島第一廃炉国際フォーラム**を開催。
- 岩田経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）より、**ALPS処理水の放出が安全に行われていること、燃料デブリの取り出しを含む段階へと進むこと、福島県内の自治体・地域による復興に向けた努力に対して敬意を表した。**
- また、地域住民の方々と、廃炉に向けた取組や廃炉後の地域づくりなど様々な分野について、**活発に対話**を行った。

（参考URL）第8回福島第一廃炉国際フォーラムについて <https://ndf-forum.com/>

イベントの様子



▲ 岩田経済産業副大臣のビデオメッセージ



▲ 廃炉関係者と地域住民との対話

安全確保

東京電力

○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺 4 地点毎日、その他 6 地点で週 2 回（放出期間中）、放水口周辺 4 地点週 1 回、その他 6 地点で月 1 回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

水産庁

○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約 4 km、②放水口の南南東へ約 5 kmの **2 地点で、週 4 回迅速分析を実施**（放出のない期間は週 1 回）

環境省

○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍 3 地点で期間中 2 回、その他沿岸 20 地点で期間中 1 回、迅速分析を実施。

（参考）原子力規制庁

○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、岩手日報、河北新報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年8月は1回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

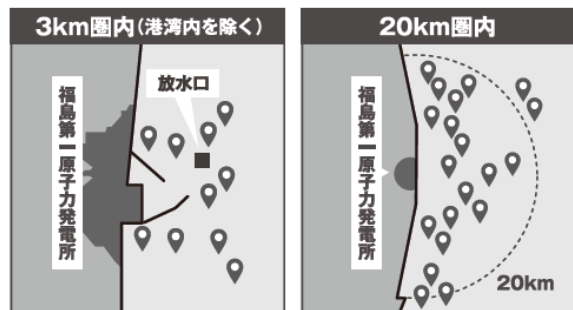
新聞への広告掲載内容（モニタリング状況のお知らせ）

福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ（2024年8月）

TEPCO

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視（モニタリング）を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/ℓ）を大きく下回り、計画どおり安全に放出できていることを確認しています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。



●：採取地点（海水） 定期的に試料を採取し、放射性物質濃度を測定。

海域モニタリングの結果

当社が測定した海水や海産物の放射性物質濃度に、**有意な変動は確認されていません。**

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/monitoring/>



包括的・海域モニタリング閲覧システム（ORBS）

当社以外の各機関（環境省、水産庁、原子力規制委員会、福島県）が測定した海水および水産物の放射性物質濃度も**有意な変動は確認されていません。**

詳細は各機関の分析結果を一元的に確認できるORBSをご覧ください。

<https://www.monitororbs.jp/>



	エリア	海水の測定結果【単位：ベクレル/ℓ】 （2024年7月1日～7月末までに得られた測定結果の最大値）	
トリチウム	3km圏内	21	
	20km圏内	検出せず（＜8.9）	
セシウム134 ^{*2}	3km圏内	検出せず（＜0.98）	
	20km圏内	検出せず（＜0.0014）	
セシウム137 ^{*2}	3km圏内	検出せず（＜0.95）	
	20km圏内	0.024	

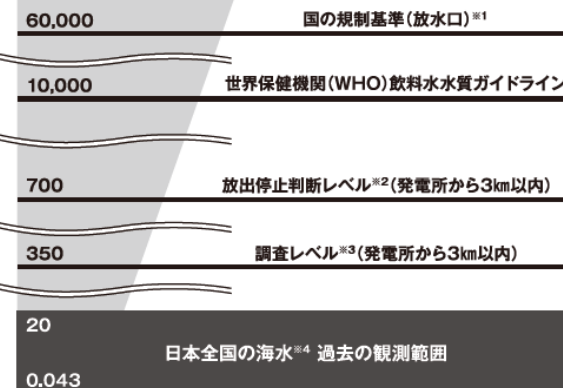
「＜」の右側の数値は検出下限値。検出下限値を下回った場合は、検出せずと記載

^{*1}：トリチウムの検出下限値は1リットルあたり10ベクレル程度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定

^{*2}：福島県周辺海域における過去の変動範囲は、セシウム134：0.000051ベクレル/ℓ～0.028ベクレル/ℓ、セシウム137：0.00028ベクレル/ℓ～0.45ベクレル/ℓ（出典「日本の環境放射能と放射線」 期間：2019/4～2022/3）

【参考】トリチウム濃度の比較

単位：ベクレル/ℓ



^{*1}：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓを飲み続けた場合に一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた国の規制基準

^{*2}：「放出停止」を判断する際の指標

^{*3}：「放出停止判断レベル」に達する前の段階において必要な対応を取る指標

^{*4}：出典「日本の環境放射能と放射線」（期間：2019/4～2022/3）